

長野市

地域全体の課題に対して、協議の場を通じて具体的な数値目標から優先的に解決に向けた取り組みを進める

今年度4年目をむかえ、協議の場を通じて、計画的に課題の共有と解決に向けた方向性を模索する

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報



取組内容

精神障害者が必要な支援を受けて、地域の中で安心して生活できるよう、地域全体の目標や課題等を関係者で共有し、対応策を検討しながら、連携体制を取ることを目的として、第2次 長野市障害者基本計画の「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」において、令和5年度の目標として協議の場の設置しました。

障害保健福祉圏域数（R●年●月時点）			か所
市町村数（R●年●月時点）			市町村
人口（R●年●月時点）			人
精神科病院の数（R●年●月時点）			病院
精神科病床数（R●年●月時点）			床
入院精神障害者数 （R●年●月時点）	合計	0	人
	か月未満（％：構成割合）		人
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）		人
	1年以上（％：構成割合）		人
			％
うち65歳未満			人
	うち65歳以上		人
退院率（R●年●月時点）	入院後3か月時点		％
	入院後6か月時点		％
	入院後1年時点		％
心のサポーター養成者数（R●年●月時点）			人
相談支援事業所数 （R●年●月時点）	基幹相談支援センター数		か所
	一般相談支援事業所数		か所
	特定相談支援事業所数		か所
保健所数（R●年●月時点）			か所
（自立支援）協議会の開催頻度 （R●年度）	（自立支援）協議会の開催頻度		回／年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R●年●月時点）	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	か所／障害圏域数
	市町村	有・無	か所／市町村数

1.協議会の場所の設置

増加傾向にある精神障害者に対する包括的な支援を行うため、保健・医療・福祉・介護関係者を構成メンバーとして、地域課題解消に向けて支援体制を構築する。

2.自立支援協議会との関係

当事者・支援員からの意見から、現状の課題から問題解決に向けて連携を図る。

3.居住・医療機関との関係

協議の場の構成員として、タイムリーな課題の抽出や問題解決に向けて連携を図る。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

精神障害者が必要な支援を受けて、地域の中で安心して生活できるよう、地域全体の目標や課題等を関係者で共有し、対応策を検討しながら連携体制を取ることを目的として、第2次 長野市障害者基本計画の「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」における、協議の場の設置目標に基づき協議を開始する。様々な課題の中から居住支援分野との連携で地域で安心して生活を送れる体制の構築を図るため、学習会を通じて現状の課題と今後の方策について協議する場が設けられ、居住支援団体や民生委員との連携が図られている。

R5 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場の設置
にも包括に係る研修会の開催 参加者：80名

R6 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場の設置（年3回）
居住支援に係る研修会の開催 参加者：77名

R7 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場の設置（年3回）
退院支援連絡会共催に係る研修会の開催 参加者：79名
居住支援に係る研修会の開催 参加者：57名

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①増加傾向にある精神障害者に対する包括的な支援を行うため、行政・福祉・医療・当事者を交えた協議会の場の設置と学習会の実施	1	1	令和6年度に長野市居住支援協議会の設立に合わせ、不動産関係団体との連携が図られる
②アウトリーチでの普及啓発	1	1	民生児童委員会、社会福祉協議会定例会、不動産関係団体の会合などに福祉サービスやにも包括の説明を行った

【特徴（強み）】

行政・障害・居住・医療に属する構成員がおり、地域の実情や課題についての情報が得られる環境にある

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
様々な課題から解決に向けての具体的な取り組み方法やマンパワーが足りない	協議会の場において課題の共有を図り、体制整備の促進を図る	行政	協議会の場の運営、参画
		医療	協議会の場への参画、連携
		福祉	協議会の場への参画、連携
		その他関係機関・住民等	協議会の場への参画、連携
		保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①協議会の実施	3	3	テーマを決定して具体的な動きとしたい
②			
③			

【にも包括構築の体制】

精神障害者が必要な支援を受けて、地域の中で安心して生活できるよう、地域全体の目標や課題等に関係者で共有し、対応策を検討しながら連携体制の構築を目標とする

所管部署名（※）	所管部署における主な業務	連携部署・機関名	連携部署・機関における主な業務
障害福祉課	協議の場の運営	保健所健康課	協議会への参画、連携
		中部地域包括支援センター	協議会への参画、連携

（※事務局を担当する部署）

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	・退院支援・地域生活支援連絡会の定期開催 ・協議の場への参画	・措置入院患者数が全国の上位
医療	・入院中に退院に向けた支援について協議ができるよう地域移行支援コーディネータほか関係者と連携を図っている ・協議の場への参画	・入院患者の長期、高齢化で地域に移行するタイミングが難しい ・24時間受け入れ態勢の早期構築
福祉	・自立支援協議会において退院支援について医療機関との連携や協議を行っている ・協議の場への参画	・GHの体験は可能だが、一人暮らしの体験する場がない ・相談支援専門員への新規相談がスムーズに進まない
その他関係機関・住民等	・協議の場への参画	・障害福祉サービスの支援や訪問看護の体制が整えば早期退院に繋がる足掛かりとなるが、家族及び地域住民の理解が得られない

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	既存の会議体を活用している場合はその名称・課題・強み等
協議の場	保健：保健所	3回 (6月,9月,1月)	関係機関からの情報共有、 優先課題の決定	入院に至る経過の複雑性や高齢化、退院に向けての環境整備やマンパワーの不足等課題が山積している
	医療：Dr、MSW			
	福祉：行政、自立支援協議会			
	その他関係機関・住民等： 居住支援、当事者団体代表			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための 協議の場に関連する会議等の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
アウトリーチ	保健：	随時	出前講座	医療機関、民生児童委員会、市社会福祉協議会のほか不動産関係団体との繋がりから、連携を図られる体制にある
	医療：			
	福祉：障害福祉課			
	その他関係機関・住民等：			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

事業利用予定年数：令和8年度まで（4年間）

到達目標 （R8年度まで）	構築支援事業終了後の体制の連携と体制づくり
------------------	-----------------------

年度	実施内容	具体的な取組
R8年度	多職種との連携、普及啓発	前年度の実績を基に、既存の体制や枠組みの検討を進め、課題解決に向けた研修会の開催
R9年度	事業利用終了、自治体で推進	協議の場の開催、研修・学習会の開催
R10年度	自治体で推進	協議の場の開催、研修・学習会の開催

10 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（短期）

到達目標 (R 8年度)	にも包括に係る協議の場の継続推進
-----------------	------------------

時期（月）	実施内容	具体的な取組
R 8 年 6 月	協議会の開催	8 年度事業実施計画の決定
R 8 年 8 月	協議会の開催	研修会の企画・打ち合わせ
R 8 年 9 月	退院支援連絡会の開催	医療・福祉関係者との連携
R 9 年 1 月	研修会（協議会）の開催	民生委員・居住支援ほか多職種連携